

# 社会教育課の目標（平成19年度）

社会教育課長 櫻井 照嘉

## 1 課の役割

社会教育課は、社会教育班、文化財班及び社会体育班で構成され、主な業務は第4次酒々井町総合計画・第3期基本計画に基づき、生涯学習の推進、青少年健全育成、人権教育・文化財の保護活用の推進及びスポーツ・レクリエーションの推進などの業務を担っています。

## 2 個別事業とその目標

### 1 生涯学習の推進（社会教育班）

近年の社会環境、生活環境の急速な変化に対応するためには、個人が過去に学んだ教育と経験だけでは社会生活に対応しづらくなっており自ら学習を継続させる必要があることから、休日や余暇に学習活動や社会参加できるよう個人が必要とする学習機会の提供を行います。

また、生涯学習推進のため家庭、学校、地域、各種団体、行政が連携して各種事業に取り組みを行います。

#### （1）生涯学習

- ・順天堂大学生涯学習公開講座を印旛村と共同開催しました。（4講座、親子60名参加）
- ・生涯学習フェスティバル開催に伴う実行委員会への支援を行いました。

#### （2）家庭教育

- ・地域の家庭教育学級の運営を行いました。（ローズマリー学級、9回延べ138名・なずな学級、7回延べ87名）
- ・学校の家庭教育学級への支援を行いました。（酒々井小学校、5回延べ105名・大室台小学校、7回延べ149名・酒々井中学校、6回延べ120名）
- ・家庭教育相談の窓口を設けました。（相談数0件）

#### （3）青少年健全育成

- ・子ども会事業への支援を行いました。（球技大会200名参加・映画会488名参加・体験教室263名参加）
- ・青少年相談員事業への支援を行いました。  
（綱引き大会173名・映画会270名参加・たこ作り教室親子32組参加・たこあげ大会親子35組参加・防犯パトロール4回実施）

#### （4）成人教育

- ・成人式の開催と実行委員会への支援を行いました。（実行委員主催の成人式の実施）  
成人式161名参加

#### （5）人権教育

- ・人権教育セミナーを6回開催し延べ686名の参加者を集めました。

・人権教育の啓発活動（ビデオなどの貸し出し）

(6) 社会教育団体等への支援

・PTA、婦人会、ユネスコ、文化協会、ガールスカウト、ボーイスカウト、  
B-Net子どもセンター

2 史跡本佐倉城跡調査整備事業（文化財班）

国史跡本佐倉城跡の活用に向けて発掘調査、調査整備の充実を図り、本佐倉城跡の周知、普及に努めます。

(1) 発掘調査区域...東山虎口(郭)～倉跡に至るルート上の虎口推定部、通路の検出  
城山郭会所推定建物の続き及び厨推定建物等の検出

城山郭から奥の山郭間にかかる推定木橋へ向かう通路の確認

(2) 整備工事区域...東山虎口東斜面（対象面積約 300 m<sup>2</sup>）

城山郭の土塁、帯曲輪上の危険樹木を伐採（対象 2,270 m<sup>2</sup>(間伐)）

(3) 整理作業...平成18年度発掘調査分のまとめ作業を行いました。

(4) 現地見学・説明会...平成15年～現在までの発掘調査成果・整備進捗状況等について現地で見学会、説明会を佐倉市と共同で年2回行いました。（佐倉市・酒々井町の広報により周知しました）

(5) 周知・普及...公民館・コミュニティプラザ等で発掘成果の展示を行っています。

3 文化財保存事業（文化財班）

指定文化財等の伝承・修理・保存活用を推進します。

(1) 「酒の井の碑」周辺整備...酒々井区に補助金を交付し誰もが集う憩いの場として周辺整備を行い、12月22日完成式典が行われました。

(2) 文化財説明看板修理...「歩き・み・ふれる歴史の道」を開催するにあたり町内文化財に設置してある説明看板の修理等行いました。

(3) 町指定文化財の指定...酒々井麻賀多神社の山車人形を町指定文化財としました。

4 「歩き・み・ふれる歴史の道 in 酒々井」(文化財班)

10月28日に町内の文化遺産を歩いて見学する「歩き・み・ふれる歴史の道 in 酒々井」を開催し、町内外の人々に歴史の町として認識を高め、交流人口の増加を図りました。結果、ウォーキング参加者594名、スタッフ等95名総勢約700名の参加がありました。

(1) 町内を3コースに分け文化遺産等を歩いて巡るウォーキング

(2) 酒々井歴史ガイドマップの作成

(3) 酒々井観光ナビゲーションシステムの構築（企画政策課）

(4) 地元住民のボランティアによるおもてなし酒々井（企画政策課）

(5) 朝市まつりとの共同開催（経済振興課）

## 5 スポーツ・レクリエーションの推進（社会体育班）

町民のニーズにあったスポーツ・レクリエーションを展開するとともに、健康づくりや仲間づくりの場を提供し、健康増進・体力の維持向上を図ります。

### （１）スポーツ・レクリエーション祭

10月7日に各種体育団体等が中心となり、実行委員会を組織し企画・運営を行い、延べ530名の参加者を集めました。また、本年度から、事前に生涯スポーツ教室（22回延べ128名）を行い、参加しやすい体制づくりを作りました。

・実施種目 綱引き、コーディネーショントレーニング、バドミントン、ソフトバレーボール、体力測定、グラウンドゴルフ、ディスクゴルフなど

### （２）生涯スポーツの推進

体育指導委員が中心となり、誰でも気軽に取り組める軽スポーツの普及を図っています。

・実施事業 ウォークラリー大会（76名参加） 軽スポーツ大会・教室など

### （３）健康と体力づくりの推進

健康づくり推進員が中心となり、ウォーキングを主体とした事業を推進しました。

・実施事業 砂浜ウォーキング（67名参加） ハイキング（秋83名参加）など

### （４）競技スポーツの向上

体育協会が中心となり、各種スポーツ大会を通し競技力の向上を図りました。

・実施事業 印旛郡市民体育大会へ282名の選手団を派遣した。また、各競技団体による町民大会を実施しました。

### （５）体育施設の有効利用

既存体育施設を効率的かつ有効に活用しながら、スポーツ・レクリエーションに親しむ場の提供を図りました。

## 6 チャレンジ目標

### （１）史跡本佐倉城跡整備事業

史跡本佐倉城跡調査整備事業については、東山虎口から城山までの発掘調査、環境整備等を重点的に行い、城跡の基礎資料となる調査報告書を平成21年度に刊行するための整理作業を行いました。

### （２）「歩き・み・ふれる歴史の道 in 酒々井」事業

指定文化財等の修理・保存活用を推進することにより、「歩き・み・ふれる歴史の道 in 酒々井」では町内外の人々に歴史の町として知っていただく事ができました。また参加者等約700名と盛況で、交流人口の増加を図ることができました。

### （３）スポーツ・レクリエーション祭事業

スポーツ・レクリエーションの推進として、「いつでも、どこでも、だれでも楽しめる」を合言葉に町民主体の第2回スポーツ・レクリエーション祭を開催し、町総合計画上の目標値として設定した500名を上回る530名の参加者がありました。